

フォーサイド グループ 2026年12月期 第1四半期 決算説明資料

補足説明資料

2026年12月期 第1四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

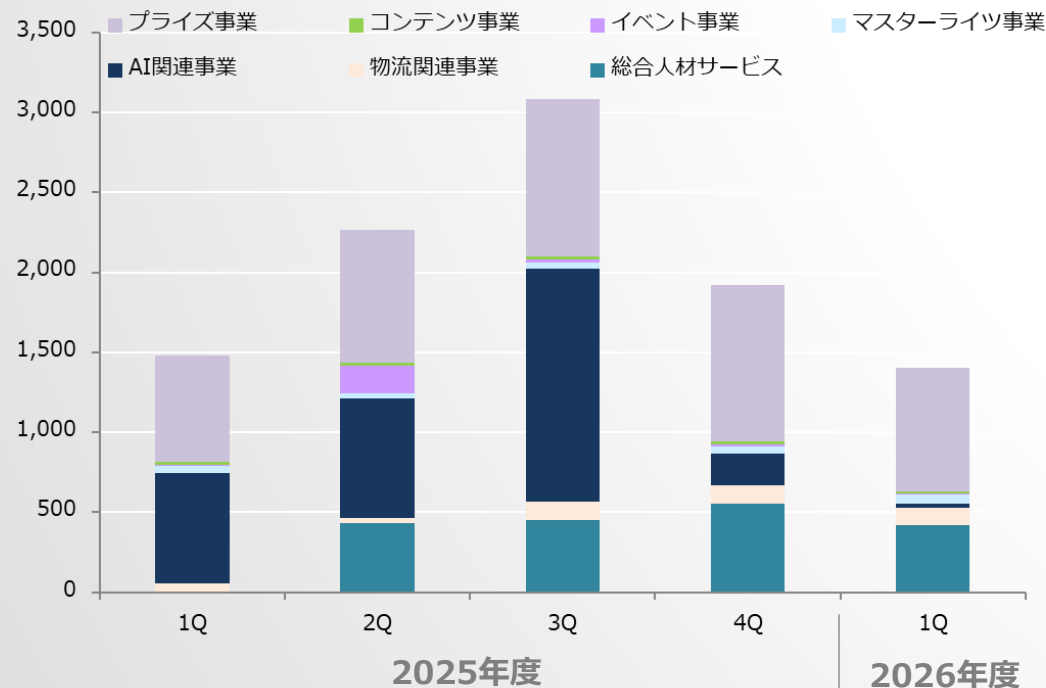
| | 2025年度 第1四半期 | 2026年度 第1四半期 | 前年比 | 主な増減要因・傾向 |
|----------------------|-----------------|-----------------|--------|---|
| 売上高 | 1,483 | 1,406 | 94.8% | <売上高> プライズ事業の受注が好調に推移したほか、前第1四半期末に子会社化した株式会社antzが行う総合人材サービス事業、物流関連事業が売上に貢献。一方で、AI関連事業におけるGPUサーバー販売の事業縮小により売上が減少した結果、前年同期比で減収となった。 |
| 売上総利益 | 283 | 440 | 155.0% | |
| 販売管理費 | 224 | 407 | 181.7% | <営業利益・経常利益> プライズ事業が好調に推移し前年同期を上回る利益を計上。一方で、AI関連事業におけるGPUサーバー販売の事業縮小に伴う利益の減少により、前年同期比で減益となった。 |
| 営業利益 | 59 | 32 | 54.8% | |
| 経常利益 | 60 | 35 | 59.1% | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 55 | 34 | 62.4% | <四半期純利益> 営業利益・経常利益が前年同期を下回ったことにより、前年同期比で減益となった。 |

(※) 本日適時開示しております「当社連結子会社における不適切取引の疑義に関するお知らせ」について、当年度及び過年度の影響は調査中であり、上記数値には反映しておりません。

プライズ事業が好調に推移、株式会社antzが行う総合人材サービス事業、物流関連事業が売上に貢献。一方で、GPUサーバー販売の事業縮小に伴うAI関連事業の売上減少により、売上高、利益ともに前年同期比で減少となった。

売上高の推移

(単位：百万円)



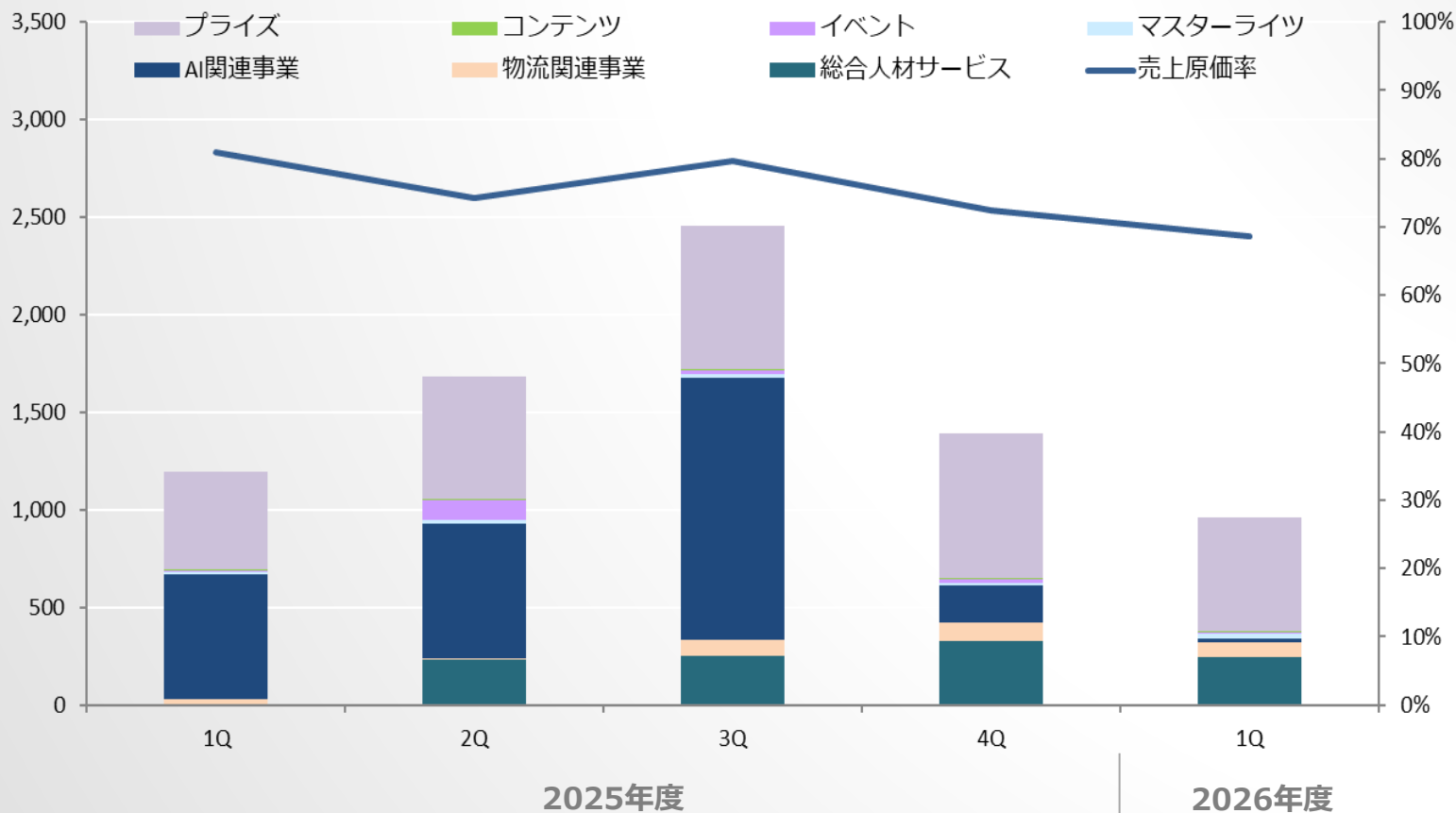
セグメント別の主な増減要因

| | |
|-------------------|---|
| プライズ事業 | 外国人観光客の増加による需要などもあり、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が好調に推移。さらにコスト低減に努めた結果、増収増益。 |
| コンテンツ事業 | 電子書籍サイト「モビぶっく」において新規顧客の獲得、顧客継続率を高めるための施策を実施したものの減収。固定費の削減を進め損失は改善。 |
| イベント事業 | 大型イベントの開催はなかったものの、イベント会場における企画商品の販売が堅調に推移し増収。損失も改善。 |
| マスターライツ事業 | 特別号としてティーン向け雑誌「Pop egg」の刊行、女子小学生向け雑誌「Cuugal」の隔月の刊行のほか、「Popteen専属モデルオーディション」などのイベントを開催。継続的なブランド価値向上に努めた結果、増収。しかし、制作費の増加等により減益。 |
| AI関連事業 | GPUサーバー販売の事業縮小に伴い、減収減益。 |
| 物流関連事業 | 一般貨物自動車運送事業の規模拡大により増収。貨物利用運送事業の取扱高の減少、燃料費高騰等の影響により、減益。 |
| 総合人材サービス事業 | 2025年3月に子会社を買収し、同年4月から当事業を開始。既存顧客の需要開拓、新規顧客の開拓を積極的に実施したものの、1～3月は暦上の稼働日数が少ないことが影響し、のれん償却費を含む固定費を吸収し切るまでには至らなかった。 |

プライズ事業が好調に推移し、総合人材サービス事業、物流関連事業も売上に貢献。一方で、GPUサーバー販売の事業縮小に伴うAI関連事業の売上減少。グループ全体では前年同期比で約5%の減収。

売上原価の推移

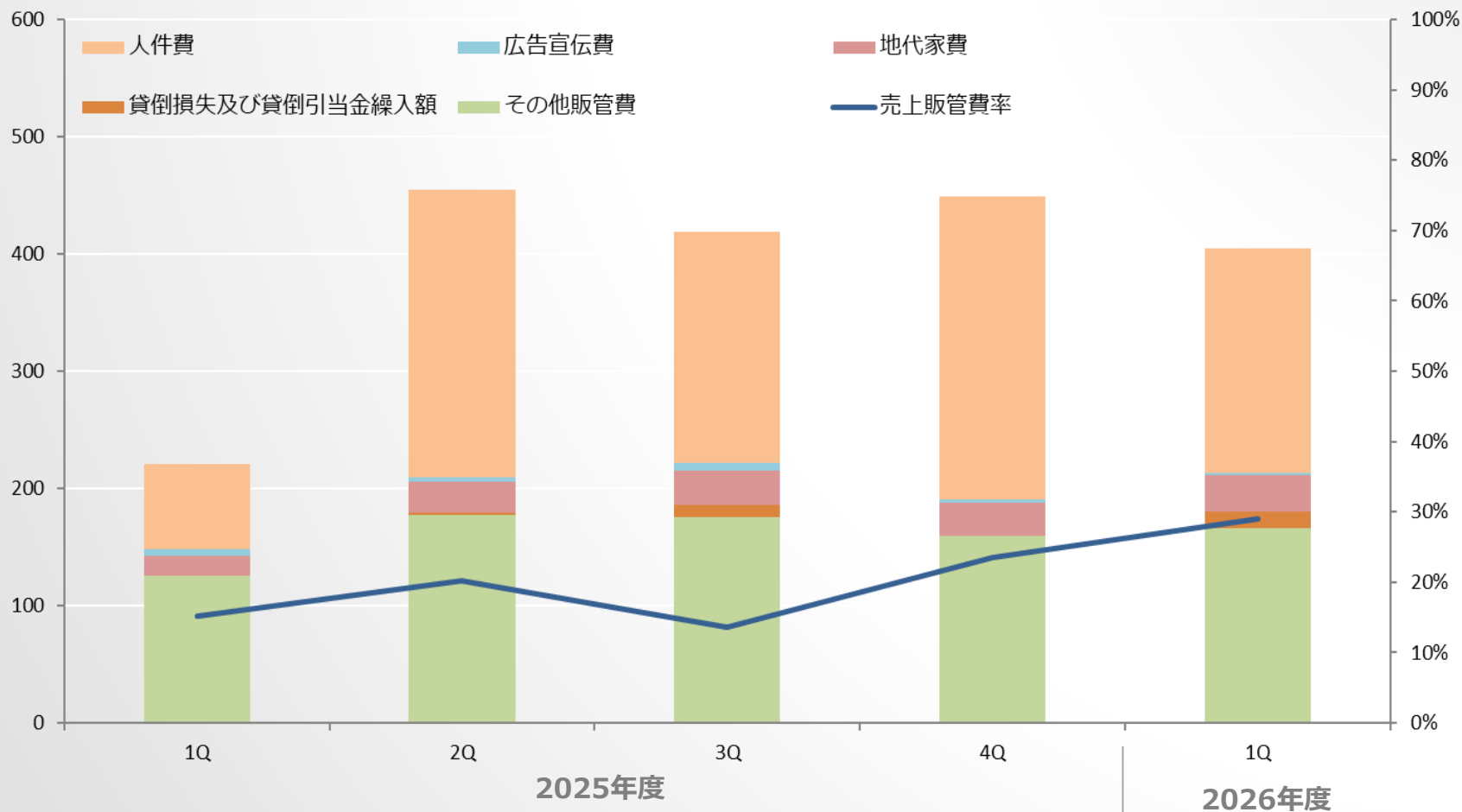
(単位：百万円)



プライズ事業では、輸送費や原材料費が高騰する中、原価低減に努め、前年度と同水準の原価率に着地。一方で、AI関連事業におけるサーバー販売を縮小したことに伴い、全社における売上原価率は低下。

販売管理費の推移

(単位：百万円)



前第2四半期に開始した総合人材サービス事業の人員費が増加。
売上原価比率が高いGPUサーバー販売から販管費率が高い総合人材サービスへのセールスマックスの移行に伴い、販管費率は上昇。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 2025年度末 | 2026年度 第1四半期 | 増減金額 | 主な増減要因・傾向 |
|-----|---------|-----------------|------|---|
| 資産 | 4,712 | 4,460 | △251 | 受取手形、売掛金及び契約資産の減少307百万円、短期貸付金の減少59百万円、前渡金の減少28百万円、のれんの減少16百万円、現金及び預金の増加198百万円等により、前連結会計年度末に比べ251百万円の減少となった。 |
| 負債 | 1,634 | 1,346 | △287 | 未払金の減少70百万円、支払手形及び買掛金の減少58百万円、未払法人税等の減少45百万円、前受金の減少29百万円等により、前連結会計年度末に比べ287百万円の減少となった。 |
| 純資産 | 3,077 | 3,114 | 36 | 親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加34百万円、為替換算調整勘定の増加1百万円等により、前連結会計年度末に比べ36百万円の増加となった。 |

(※) 本日適時開示しております「当社連結子会社における不適切取引の疑義に関するお知らせ」について、当年度及び過年度の影響は調査中であり、上記数値には反映しておりません。

(注) 2026年3月31日現在、発行済株式総数は43,687,704株（うち自己株式96,414株）

当期純利益の計上等により、純資産は増加。

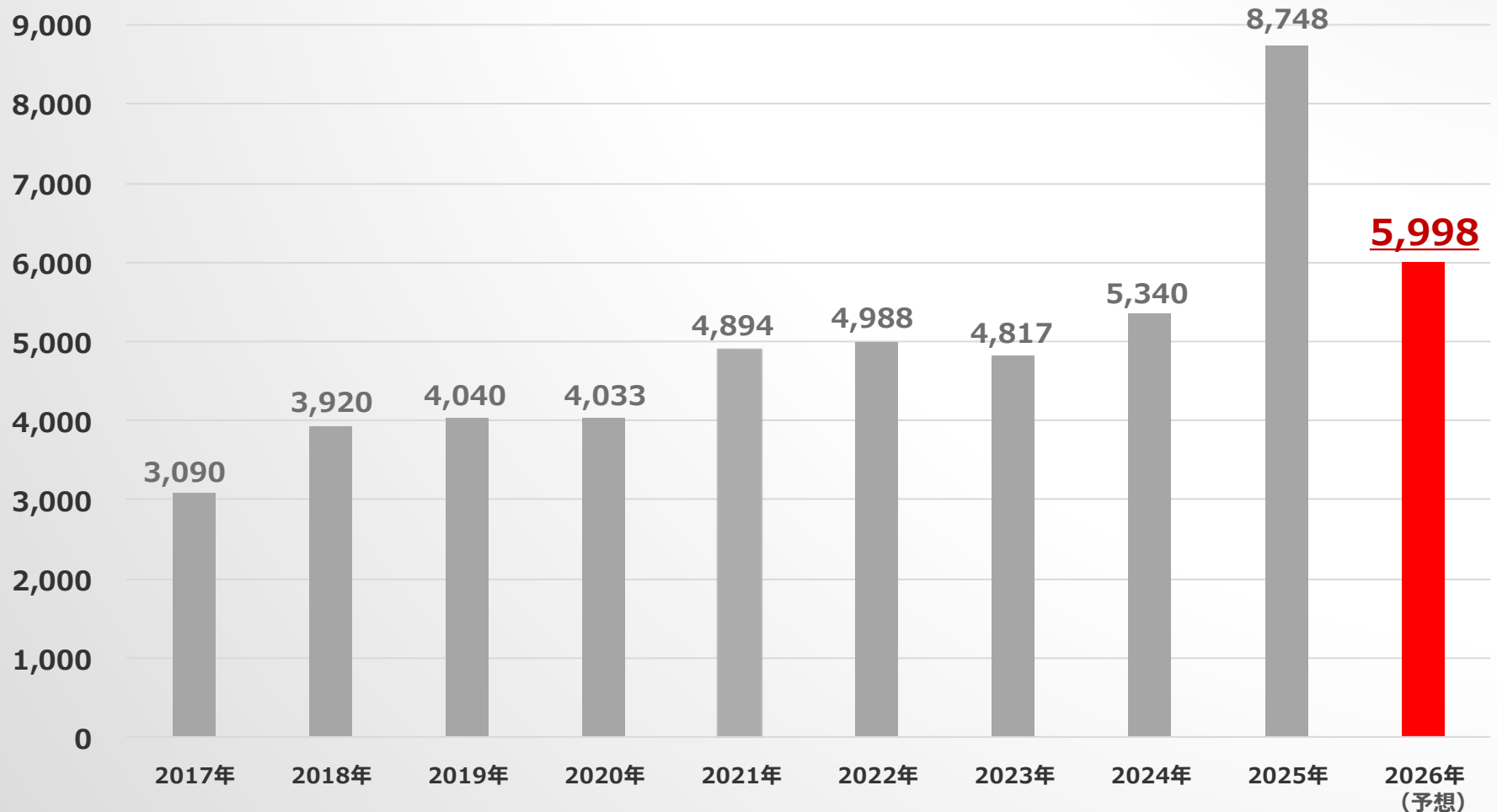


2026年12月期の業績見通し

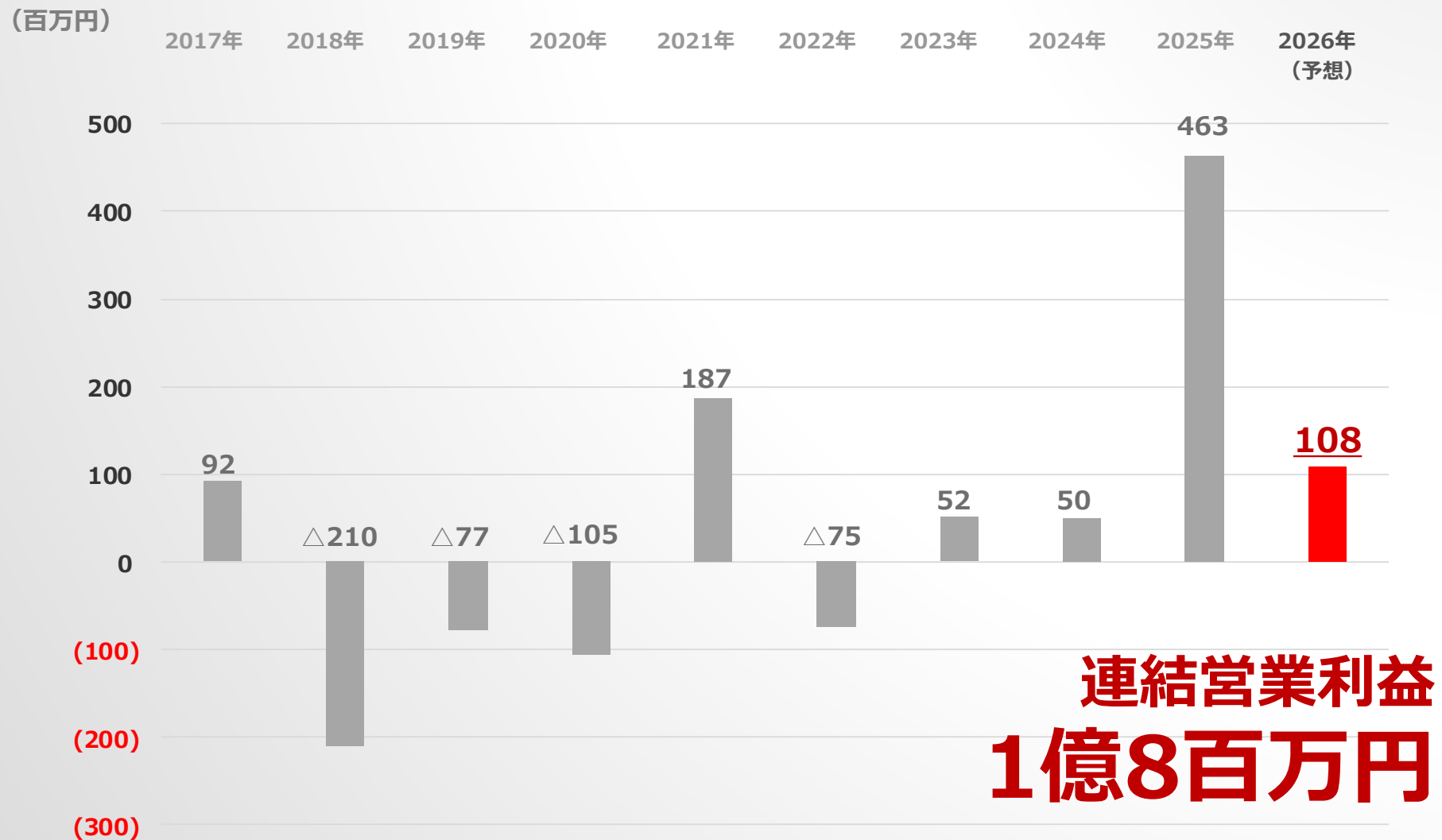
連結売上高（通期予想）

連結売上高59億98百万円

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要 (2026年3月31日現在)

会社名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所在地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設立日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資本金

10,000,000円

経営陣

代表取締役 大島 正人 常務取締役 大島 崇
取締役 根津 孝規 取締役 長尾 康裕 取締役 大塚 美樹
監査等委員 田崎 司郎 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事業

株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・(株)antz：総合人材サービス事業/運送事業/ITソリューション事業
- ・(株)エム：一般貨物自動車運送事業/貨物利用運送事業
- ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業
- ・(株)AI Tech Solutions：AIツール開発/AI開発支援用サーバー販売



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。